

## 福島県ツーリズムガイド (FTG) 認定制度について

資源デザイン研究所代表  
日本エコツーリズム協会理事  
海津ゆりえ  
平成18年12月18日

### 1. はじめに

- 福島県では「美しい自然と、心の触れあい、ふるさとを感じる観光ふくしまの創造」を目指し個性豊かで魅力溢れる「美しいふくしま」づくりに取り組んでいる
  - \* うつくしま、ふくしま観光基本構想 (H5. 11)
  - \* 福島県観光振興基本計画 (H14. 03)
- その中で、一層のサービス向上を目的に「県民総ガイド意識の醸成」をはかる
- うつくしま未来博 (H13) を機に、県内各地で「ガイド活動(主にボランティア)」が活発化

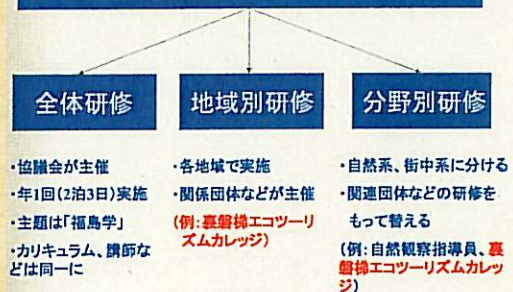
2

### 2. 福島県ツーリズムガイド連絡協議会

- 県内各地のガイド組織のネットワーク化、情報発信の一元化の機運が高まる
- ガイド連絡協議会設立準備会を設置 (H14.7)
- 福島県ツーリズムガイド連絡協議会発足 (H14.11)
  - \* 基本的には県内のガイド団体の横断的な連絡組織
  - \* 当初の会員数 58団体、現在65団体 (H18.12.1)
  - \* 事業計画は、「研修会の実施」「会報の発行」など
  - \* 会長: 進士徹 (あぶくまエクスネット代表)
  - \* 事業: ①研修・スキルアップ(認定)、②交流・情報交換、③会報発行
- 「ガイド養成」「ガイド認定」の必要性が浮上
- 「ガイド養成研修制度」「ガイド認定制度」を制定し運用を開始 (H15年度)

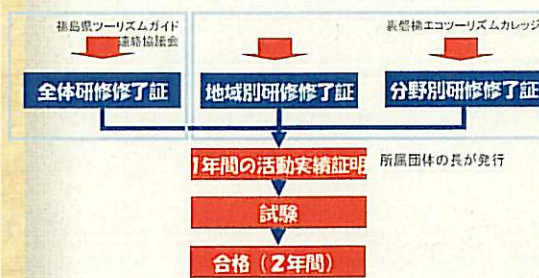
3

### 福島県ツーリズムガイド養成研修制度



4

### 福島県ツーリズムガイド養成研修制度(続)



5

### ガイドに求められる能力

	技術	知識	態度
基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全管理力</li> <li>●会話能力</li> <li>●プログラム開発能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●解説素材に関する基礎知識</li> <li>●フィールド保全のためのルール、方法の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参加者の満足への気配り</li> </ul>
高度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参加者の気づきや発見、深い興味を引き出す力</li> <li>●調査技術</li> <li>●事業運営能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●解説素材に関する深い知識</li> <li>●地域の社会、文化や自然に関する深い知識</li> <li>●他地域の事例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●思慮深さ</li> <li>●広い視野</li> <li>●哲学</li> </ul>

(環境省編(2004)「エコツーリズム さあ、はじめよう」に加筆)

### 3. 全体研修会

- 全体研修会は、推進協議会が主催
- 各年度に1回、2泊3日の日程で実施
- カリキュラムの主題は「福島学」、その他「ガイド技術」「危機管理」など
- カリキュラム、講師などは、なるべく同じもの、同じ人で
- 会場は、各地域で持ち回り
- 過去4回(H16.02、H16.11、H17.11、H18.11)実施済

7



### 4. 地域別研修会

- 各地域での企画、実施が原則
- まだ、実施されたところは少ない
- 裏磐梯では、「裏磐梯エコツーリズムカレッジ」が企画、実施されている
  - \* 環境省エコツーリズムモデル事業との連携
  - \* 平成17年度～開講
- 各地域での実施が課題

11

### 5. 裏磐梯エコツーリズムカレッジの概要

- エコツーリズムの理念に沿った3つの講座を展開
  - \* 裏磐梯学講座(裏磐梯を一步深く知る) 10単元(7単元)
  - \* 育成学講座(おもてなし力を磨く) 5単元(3単元+6単元※)
  - \* 保全学講座(自然の保全方法を学ぶ) 2単元(4単元)  
→ ( )内の単元数はH18年度分を示す。※はステップアップ講座
- 座学とフィールド体験、実習を組み合わせた講座
- 受講対象者は、
  - \* 裏磐梯が好きな! 人(地域の住民ほか)
  - \* ガイドを志す人(プロ、ボランティアを問わず)
  - \* 自然保護に熱意のある人
- 期間は春～秋(H17.5-12、H18.6-12)
- 講師は、研究者・達人ネットワークに登録

12

## 裏磐梯エコツーリズムカレッジ2005年度

講座名	講義名	コード	講師	月日	時間	場所	受講料	
裏 磐 梯 学	開講式 「目からウロコのエコツーリズム」		A-1	高橋 昭夫さん (岩手県立大学) 小野内 聡幸さん (江戸川大学) 上野 昌也さん (環境省自然環境政策課) 伊藤 昌典さん (環境省自然環境政策課)	6月14日(土)	13:30-17:30	磐梯村 多目的ホール	無料
	第1回	磐梯山の火山 - 磐梯山の噴火 -	B-1	佐藤 公さん (磐梯山噴火記念館館長)	6月19日(水)	13:30-17:00	ビジターセンター シスターホール	
	第2回	磐梯山の植物 - ①雄国川の植生/②噴火と植生復元 -	B-2	磯口 利雄さん (福島県植物研究委員会)	6月19日(水)	13:30-17:30	磐梯村 多目的ホール	
	第3回	磐梯山の生きもの① - 磐梯山の野鳥 -	B-3	鈴木 聡さん (環境省自然環境政策課) 藤原 伸一さん (環境省自然環境政策課)	6月19日(水)	7:30-10:30	ワトソンホール	
	第4回	磐梯山の生きもの② - 磐梯山のほ乳類-鳥-	B-4	阿部 啓祐さん (環境省自然環境政策課)	6月19日(水)	13:30-15:00	磐梯村 多目的ホール	
	第5回	磐梯山の歴史① - 伊達正宗と会津米沢街道 -	B-5	渡部 新一さん (郷土史研究家)	6月23日(木)	13:30-15:30	道の駅南会	受講料 大人: 4,000円 小学生: 2,000円
	第6回	磐梯山の歴史② - 磐梯湖の湖水 -	B-6	千葉 茂さん (岩手大学)	6月23日(木)	13:30-14:45	磐梯村 多目的ホール	
	第7回	磐梯山の歴史③ - 磐梯湖の魚たち -	B-7	坂本 隆さん (環境省自然環境政策課) 藤原 伸一さん (環境省自然環境政策課)	6月23日(木)	15:30-17:00	磐梯村 多目的ホール	
	第8回	磐梯山の歴史④ - 噴火後の歴史/湖と電力開発史 -	B-8	高木 隆夫さん (環境省自然環境政策課)	6月23日(木)	13:30-17:00	磐梯村 多目的ホール	
	第9回	磐梯山の文化① - 郷土の料理 -	B-9	料理家の先生のみなさん	6月23日(木)	11:30-14:30	自然環境センター	
育 成 学	第10回	磐梯山の文化② - 木地師と製菓 -	B-10	小野 昌也さん (環境省自然環境政策課) 佐藤 公さん (磐梯山噴火記念館)	6月23日(木)	14:30-16:30	自然環境センター	
	第11回	環境教育「おもてなし」学	C-1	山田 昌一さん (環境省自然環境政策課)	7月8日(土)	13:30-14:30	自然環境センター	
	第12回	観光施設の環境経営	C-2	津波 孝治さん (グリーン購入ネットワーク)	7月8日(土)	15:30-17:00	自然環境センター	受講料 全5回分 大人: 4,000円 小学生: 2,000円
	第13回	自然の保護と利用	C-3	千葉 茂さん (岩手大学)	7月8日(土)	15:30-17:30	自然環境センター	
	第14回	自然保護ボランティアの楽しみ方	C-4	伊藤 昌典さん (環境省自然環境政策課)	7月8日(土)	13:30-15:30	自然環境センター	
保 全 学	第15回	プログラム立案学 <演習> 米生講座受講可	C-5	森田 慎也さん (ピッキオ)	11月17日(土)	13:30-15:30	自然環境センター	
	第16回	植生回復活動実践 - 「緑野園地」	C-6	環境省自然環境政策課 山田昌一さん (環境省自然環境政策課) アライヤウ 穂口 智恵さん (環境省自然環境政策課)	7月7日(金)	13:30-15:00	自然環境センター	受講料 全5回分 大人: 4,000円 小学生: 2,000円
修了式		A-2		12月14日(土)		磐梯村 多目的ホール	無料	

○特別講座も随時開催いたします。  
 ○受講料とは、講座を通して受講する方(講座受講生)の受講料です。好きな講座だけを受講したい方は、「聴講生」となります。聴講料を受講料にお支払い下さい。  
 ○聴講料は1コマあたり、料員1,000円(裏磐梯学のみ500円)、料員1,500円(裏磐梯学のみ500円)、料員2,000円  
 ○「カレッジ第7回」は各講座から1コマ以上受講し、且つ全体で13コマ以上受講することが条件です。第7回で対応致します。その他の方のご希望の方には、「受講料」をお知らせします。  
 ＊裏磐梯学第5回「環境教育「おもてなし」学」は、バスの乗車人数に限りがありますので、抽選申込をさせていただきます。

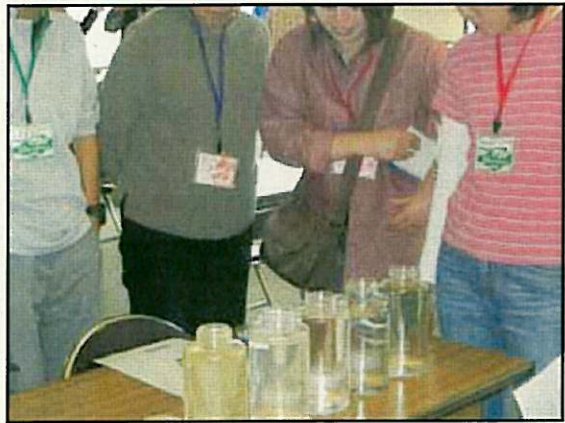
## 裏磐梯エコツーリズムカレッジ2006年度

月日	時間	講義名	講師候補	会場
6月19日(月)	10:00-15:00	開講式		
7月5日(水)	13:30-17:00	磐梯山の噴火	佐藤公 (磐梯山噴火記念館館長)	裏磐梯学 キャンプセンター
7月7日(木)	13:30-17:00	磐梯山の植物	磯口利雄 (福島県植物研究委員会)	裏磐梯学 キャンプセンター
7月8日(金)	7:30-10:30	磐梯山の野鳥	鈴木聡、藤原伸一 (小鳥の森)	裏磐梯学 キャンプセンター
7月16日(木)	13:30-15:00	おもてなし講座 (実践編)		自然環境活用センター
7月17日(金)	13:30-15:00	磐梯山と山岳信仰とのつながり	白岩賢一郎 (歴史資料館学芸員)	裏磐梯学 歴史資料館
7月18日(土)	13:30-14:30	磐梯湖の水生昆虫から水環境を見る	星一彰 (福島県自然保護協会会長)	裏磐梯学 キャンプセンター
7月18日(土)	13:30-17:00	外来生物とは・希少植物とは～私にもできる保護活動(オオハシゴソウの除去)	山田昌一 (裏磐梯パークボランティア五色沼の会会長) 高橋拓介 (裏磐梯自然保護官)	保全学 キャンプセンター
7月18日(土)	13:30-17:00	小沢で描かれる裏磐梯	田村嘉博 (岩手大学文学部教授)	裏磐梯学 磐梯村多目的ホール
7月18日(土)	13:30-15:00	磐梯山の植物の特徴って何?	高沢秀 (福島大学助教授)	裏磐梯学 キャンプセンター
7月18日(土)	13:30-15:00	磐梯山の植物を見比べてみよう	五十重秋子 (いなわしろ伝説人会)	裏磐梯学 ?
7月18日(土)	13:30-15:00	身近な生き物調査の方法とプログラム作り	寺野万里子 (ピッキオ)	保全学 アルタ植物
7月20日(日)	11:00-16:00	人による利用の影響とは? 探してみよう環	裏磐梯自然保護官	裏磐梯学 キャンプセンター
7月20日(日)	午前	エコツーリズム論	広瀬敬通 (ホールアース自然学校代表)	保全学 キャンプセンター
7月20日(日)	午後	環境保全の考え方と仕組み	伊藤延寛・清水秀俊	保全学 磐梯村天文台ホール
7月20日(日)	午後	環境省自然保護官事務所		保全学 磐梯村天文台ホール
7月20日(日)	午前	エコツアーガイドの役割	広瀬敬通 (ホールアース自然学校代表)	保全学 磐梯村天文台ホール
7月20日(日)	午後	伝える技術I	小林毅 (岐阜県立森林文化アカデミー教授)	保全学 磐梯村天文台ホール
7月20日(日)	午後	伝える技術II (実習)	小林毅 (岐阜県立森林文化アカデミー教授)	保全学 磐梯村天文台ホール
7月20日(日)	午後	親子でつくる。現代版郷土の料理		保全学 北山
7月20日(日)	13:30-17:00	磐梯山の野生動物と人の生活圏	池田隆宏 (野生動物園長)	裏磐梯学 自然環境活用センター
7月20日(日)	13:30-15:00	磐梯山らしい景観って何? 景観に配慮する	下村彰男 (東京大学大学院教授)	裏磐梯学 自然環境活用センター
7月20日(日)	13:30-17:00	プログラム立案学	森田慎也 (ピッキオ)	保全学 自然環境活用センター
7月20日(日)		セミナー「参加型モニタリングで自然は守れるか?」		保全学 キャンプセンター

地域別・分野別研修  
(裏磐梯エコツーリズムカレッジ)

裏磐梯学「磐梯山の噴火」  
民宿で講師と住民の交流会  
裏磐梯学「文化(木地師と熊籠ち)」  
育成学「プログラム立案学」

15



保全学(雄国沼の利用インバウト調査実践)

16



6. 分野別研修

- 分野別研修は、自然系と街中系とに分け、該当する分野に応じた研修の履修を義務付ける
- 各関連団体などの研修の修了をもって、分野別研修の修了と見做す

例

- \* 自然系: 自然観察指導員(NACS-J)、もりの案内人(福島県)
- \* 街中系: アクアマリンふくしまボランティアガイド研修  
鶴が城ボランティアガイド研修

- 分野別研修と認める代替研修の明確化が課題

20

## 7. 福島県ツーリズムガイド認定制度

(基本的な考え方)

- 福島県を代表するツーリズムガイドとして認定される者は、福島県の宝(自然、歴史、文化、生活等)についての知識、それらを的確に伝える技術と経験、さらには人々から信頼される人格を備えていること
- 受験資格
  - \* 協賛会加盟組織の所属員であること
  - \* 所属組織の代表者の推薦が得られること
  - \* 各研修(全体、地域、分野)を修了していること
  - \* 全体研修を修了してから、1年以上の実務経験(OJT)があること
  - \* 日赤の救命救急講習を履修していること

21



## 8. 認定試験および認定の更新

- 認定試験は、毎年1回実施する
- イ) 書類選考
  - \* 受験申込書(含む所属組織の代表者の推薦および活動実績)
  - \* 各研修の修了証
  - \* 小論文(800字程度)
- ロ) 口述試験
  - \* 試験官の前での口頭試問
- ハ) 認定の更新
  - \* 認定の有効期間は、認定後3年間とする
  - \* 更新時の条件については、現在検討中

22



## 9. 認定試験の結果

- 第1回認定試験
    - イ) 書類選考(H16. 12実施)
      - \* 受験者39名 合格者39名
    - ロ) 口述試験(H17. 1実施)
      - \* 受験者39名 合格者39名
  - 第2回認定試験
    - イ) 書類選考(H17. 12実施)
      - \* 受験者21名 合格者20名
    - ロ) 口述試験(H18. 1実施)
      - \* 受験者20名 合格者19名
- ・ 現在までは、実務経験の多い受験者が主であるため

現在の認定ガイド

57名

23

## 10. 今後の課題

- 各地域における地域研修制度の確立
  - \* 平成19年度、福島県内他地域でセミナー実施予定
- 分野別研修の修了と認める代替研修または資格の明確化
- 認定試験制度および合否判定基準の見直し
- 資格更新時の条件(例:有効期間中の評価、更新時の研修の義務化など)の明確化

26